

# 第4編

## 計画の推進

# 1. 関係機関との連携・協力による計画の推進

教育は、多くの関係者の取り組みにより社会全体が担うものであり、本計画の推進にあたっては、教育委員会が中心となり、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら緊密に連携・協力し、また市民団体や企業、NPO等の民間団体等とも連携・協力を図りながら、各施策に取り組んでいきます。

# 2. 開かれた教育行政の推進

本計画をより円滑に推進し、基本目標や目指す姿を確実に実現するためには、市民が一体となって取り組んでいくことが重要です。そのためには、本市の教育に関する現状や課題、施策や主要事業等について、市民の皆様理解され、共有されるよう、ホームページ等を活用し、分かりやすい情報発信に努めていきます。

また、市民ニーズや教育に関する情報等を的確に把握し、迅速な対応に努めていきます。

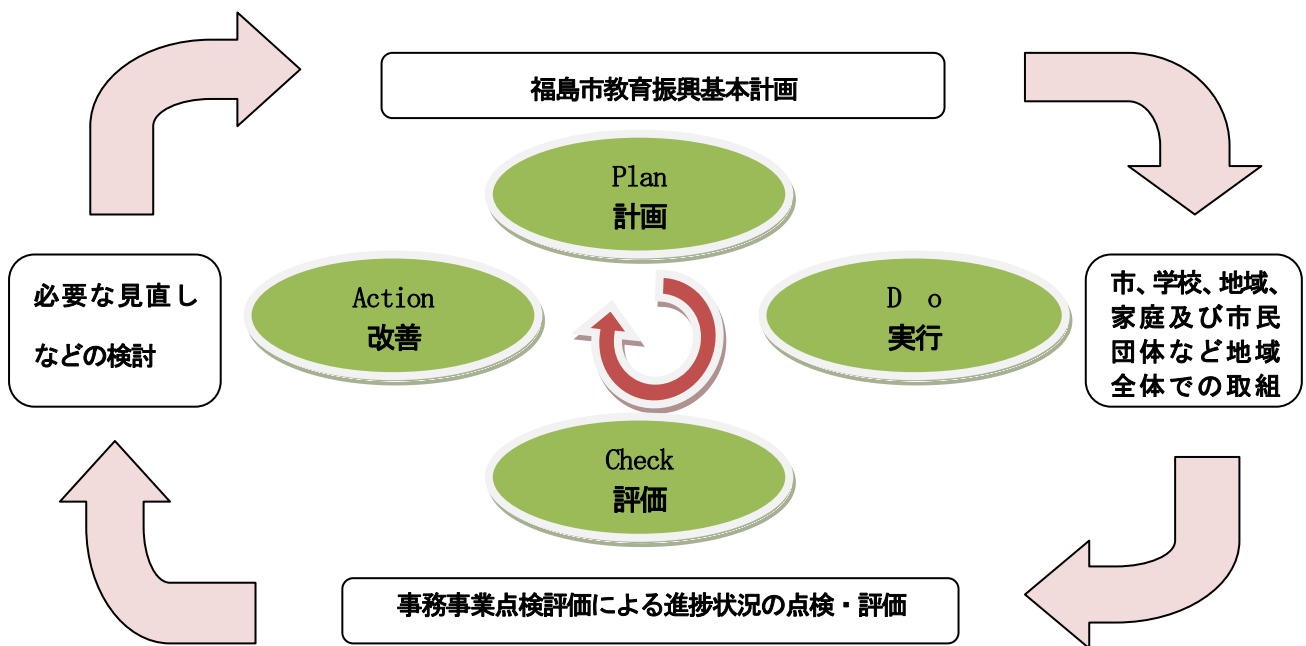
# 3. PDCAサイクルに基づく計画の推進

本計画は、教育基本法第17条第2項に基づく福島市における教育分野での最上位の計画として位置付けるものであり、また、福島市総合計画後期基本計画並びに個別計画との整合性を図りながら5年後（平成32年度）を見据えたものとしています。

計画の実現にあたっては、PDCAサイクル<sup>※1</sup>（PLAN「計画」－DO「実行」－CHECK「評価」ACTION「改善」）で施策・事業を推進することが重要です。

よって、本計画を以下のとおり推進していきます。

- ①本計画を基に単年度毎に各施策・事業の分析をし、重要性、緊急性を踏みながら「福島市教育委員会努力目標」を策定し、各種事業を推進していきます。
- ②前年の各施策・事業に対しての進捗状況・成果を点検・評価し、改善を図りながらさらなる教育の向上に努めていきます。



※1 典型的なマネジメントサイクルの1つで、計画 (plan)、実行 (do)、評価 (check)、改善 (action) のプロセスを順に実施する。最後の action では check の結果から、最初の plan の内容を継続 (定着)・修正・破棄のいずれかにして、次回の plan に結び付ける。このらせん状のプロセスを繰り返すことによって、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法が PDCA サイクル。